

腰部の運動機能症候群の 評価と治療

概要

正しい姿勢と正しい動きは、身体の不調を防ぎます。しかし、運動発達の過程や、子供の頃からの動きのクセ、スポーツでの反復動作、趣味などによって姿勢は崩れ、常に動きやすい方向へと過用症候群が生じてしまいます。その過程で外傷や障害を生じることがあります。これは「たまたま」ではなく、その怪我が生じやすい姿勢や運動パターンになっていたことが原因です。また皮膚・結合組織・筋・筋膜・関節などに障害があると、正しい姿勢がとれなくなります。これを不良姿勢といいます。不良姿勢は、可動性の低下、痛み、筋パフォーマンスの低下、心肺機能の低下などの様々な症状を引き起こします。

足関節の捻挫だから足部だけの治療、腰痛だから腰部だけの治療という考えは古いと言っても過言ではありません。当たり前過ぎますが、全身はつながっています。つながっているから全身なのです。「姿勢は全身のつながりだ」という考えのもと、全身の評価が重要となります。そして正しい医学的理論、すなわち解剖学・生理学・運動学・治療法にもとづき、身体全体を通してバランスを調整することが大切です。今回は全身の姿勢の評価と治療法、そして腰部の運動機能症候群を中心に講義と実践を進めていきます。参考書は「姿勢の教科書」（ナツメ社）です。各自の判断にお任せしますが、購入をお勧めします。

【講師】 竹井 仁先生（首都大学東京大学院 人間健康科学研究科教授）

【日時】 2017年10月21日（土）14:00～18:00（13:30受付）
10月22日（日） 9:30～16:00

【受講料】 13,000円（税込）当日現金にて徴収

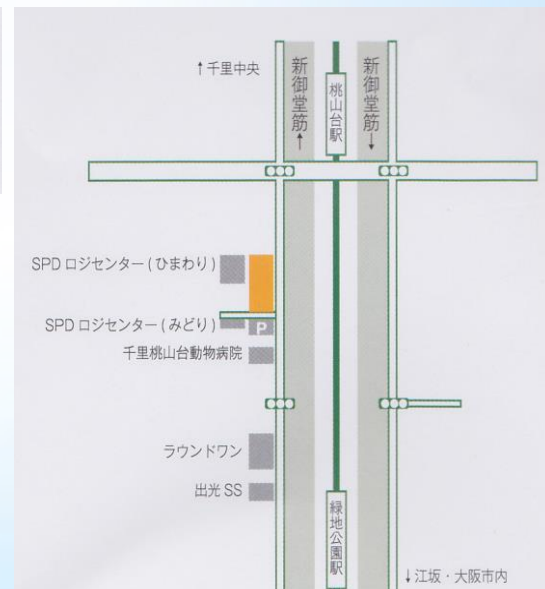
【申し込み方法】 HPにて受付

【HP】 <http://jissen-riha.com>

【問い合わせ】 jissen-riha2@ab.auone-net.jp

【会場】 グリーンホスピタルサプライ（株）4階大会場
（〒565-0853 大阪府吹田市春日3-20-8）

【交通のご案内】 北大阪急行電鉄「桃山台駅」下車
南改札口より南へ徒歩7分



※近隣に駐車場が少ないので公共交通機関をご利用下さい